



# 富田の風

豊かな心、すぐれた知性、  
たくましい体を備え  
粘り強さと実践力のある生徒の育成

Tonda Junior High School

2021. 9. 17

校長 内之八重正裕

## 2学期のスローガン 「コロナに負けるな！」

このスローガンは、2学期の始業式で全校生徒に話したものです。節目と考えていた2週間も過ぎました。感染予防に向けた生徒の努力や保護者の皆様のご協力のお陰です。ありがとうございます。

給食時間の校内放送の中で、生徒が「目指せ、コロナに負けない富田中！」と呼びかけをしてくれています。嬉しい限りです。

## 心配するな 工夫せよ

これは、宮崎県の観光などの発展に貢献された岩切章太郎さんの言葉で、同氏の著書のタイトルにもなっています。

体育大会を10月10日に予定している中で、今週は雨がちで満足な練習ができず、さらに西都児湯地区中学校秋季体育大会が1週間延期された影響で、中体連大会の翌週が体育大会となるなど、状況は決して楽ではありませんが「何はできるか、どうすればできるか」を考えて取り組んでいきたいと思えます。

これまでの新型コロナウイルス感染症対応の中で気付かされたことは、「初心・原点に戻る」ことです。例えば、体育大会の場合は、

**目的は、「体育大会をすること」ではなく、  
ましてや「見栄えのよい体育大会をすること」ではありません。  
準備や練習、そして大会当日を通して、生徒が何某かの成長を遂げ、満足感を得ること。  
これが「初心・原点」です。自分自身が満足できる体育大会にするために頑張りましょう！**



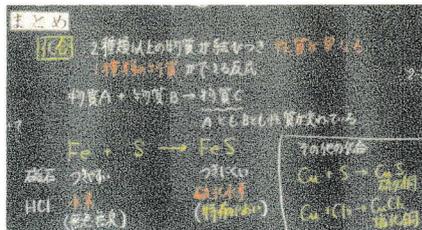
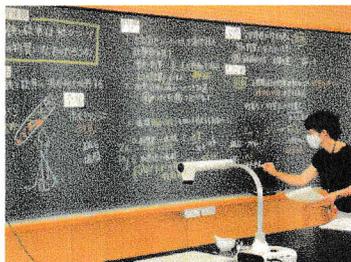
↑ 生徒会役員選挙に向けて立候補者が朝のPR中です



## 授業の「終わりの10分」に注目を

学力向上のために、授業の終盤で「その時間の<まとめ>をする」ことを全職員で心がけています。家に帰ったら、ノートなどに書いてある<まとめ>を見直して、今日の授業のポイントを確実に覚えたり、練習問題を解いたりするなどの努力をしてください。「授業と家庭学習」が成績アップの両輪です。

また、1学期の反省の中に「授業の終わりが遅くなって休み時間が短くなる」ということもありましたので、授業終わりのチャイムが鳴るときには確実に授業が終わるように心がけています。生徒も職員も一人一人の努力で「成績アップ」を目指しましょう。



↑ 練習問題を解いて、個別指導も↑

↑ 「まとめ」の例です。家でも暗記を。

## 全国学力・学習状況調査(全国学力テスト) ~更なる向上心を~

このことについて、先日、文部科学省が本年度の結果を公表しました。因みに、この調査は、中学生は3年生だけが対象で、教科は国語と数学です。ただし、3年に1度は理科も加わって3教科になります。本年度は国語と数学の2教科で、今の2年生が受ける来年4月は理科を加えた3教科になります。

生徒には個人の結果が既に配付されています。このテストは、「平均点」という表現はなく、「平均正答率」という数値で表現されています。本校の3年全体の平均正答率は、国語・数学ともに宮崎県全体の平均正答率とほぼ同じです。一方で、3年生の西都児湯地区実力テストの結果は、今年1月→5月→6月と伸びてきていますので、現在は県平均を少し上回っているのではないかと期待をしています。また、9月上旬に行われた西都児湯地区実力テストの結果は10月初めには本校に届くと思います。次の西都児湯地区実力テストは、10月14・15日(体育大会直後ですよ)に実施される予定です。

全国学力・学習状況調査では、国語や数学のテストの他に、学校生活や家庭生活などに関するアンケート調査も行われます。その1つに「学校に行くのが楽しいと思うか」という設問があります。全国の結果が公表されていますので、本校独自に1学期末に行った生徒アンケートの結果と比較してみます。

【全国】

「あてはまる」 43.4%  
「どちらかという」と 37.7%  
あてはまる

【本校】

「よくあてはまる」 53.8% 本校が +10.4ポイント  
「どちらかという」と 24.4% 本校が -13.3ポイント  
あてはまる

本校の選択肢は「よくあてはまる」で、全国調査よりも厳格な表現でしたが、全国を10.4ポイント上回ることができたのは嬉しいことです。すべての生徒が「学校に行くのが楽しい」と感じることができるよう、今後も努力していきたいと思えます。